

暮らしやすい鈴蘭台のまちをめざして...

駅前まちづくり ニュース

発行：鈴蘭台駅前再開発検討部会



平成12年6月9日

9号

● 第9回勉強会での意見等

- ・現在の駅前商業集積と同じ規模の商業規模では再開発の意味がない、活性化にならない。
- ・100戸を超える規模のマンションを、一度に販売する計画は現実には難しいと思う。
- ・1, 2階建てで店舗と屋上駐車場だけの建物ならば工事費も抑えられるが、居住者のことを考える必要がある。
- ・駅前広場に歩行者デッキをかけて、駅や周囲のビルとつながれば、3階でも店舗が成り立つのではないか。

模型を並べて、再開発を検討！

5月30日(火)午後7時30分より、勉強会を開催しました。

再開発ビルの規模を3種類設定して、模型を使いながら検討を行いました。

● 3種類の再開発ビルの規模

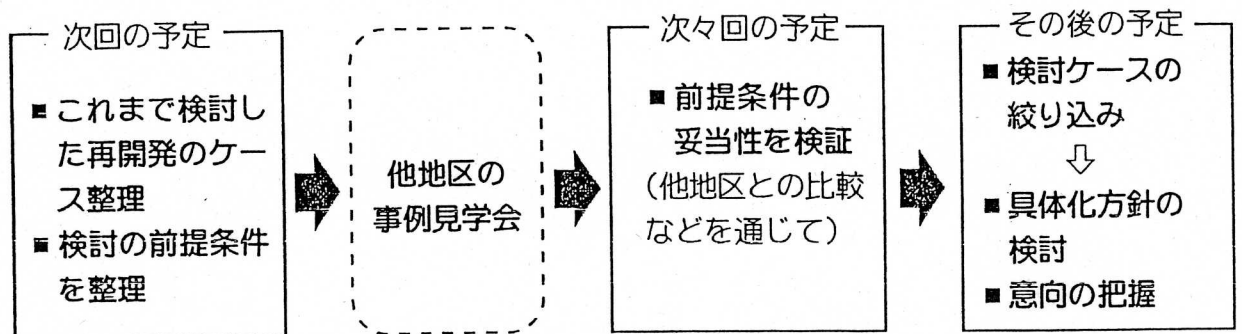
①大規模タイプ	・1～3階が店舗、上部が住宅で、17階建て ・店舗4, 500㎡、住宅130戸
②中規模タイプ	・1～3階が店舗、上部が住宅で、8階建て ・店舗6, 000㎡、住宅50戸
③小規模タイプ	・1～3階が店舗、上部が住宅で、5階建て ・店舗6, 000㎡、住宅20戸

● 模型を使ってビルのおおきさ、周囲との関係を比較しました。



● これからの進め方 ●

- ・再開発検討部会では、これから下図のようなテーマで勉強会を進める予定です。
- ・まずは、これまで検討した再開発のケース、検討の前提条件(こうだったら、こうなれば)を整理します。
- ・具体の事例を勉強して、前提条件の妥当性を検証しつつ、事業の可能性を検討します。



※次回は6月20日(火)午後7時30分より鈴蘭台自治会館2階で行います。
みなさん、ふるってご参加下さい。